

長野県まちづくり

ボランティア
フォーラム

2022

第1分科会

12/4

9時30分
から
11時30分

オンライン開催

最近、
つながってない？



コーディネーター 酒井 保 氏
(ご近所福祉クリエイション主賓)

さ さ え あ い

まちの縁側
地域ささえあい活動
常会・地区活動

お茶のみサロン
地域の体操教室
地域福祉課 etc…



ボ ラ ン テ ィ ア

手話ボランティア
要約筆記ボランティア
ボランティアセンター

点訳ボランティア
音訳ボランティア
地区社協 etc…

私たちの暮らす地域では、さまざまな人がさまざまカタチで日常を送っています。そして、その暮らしを応援する、豊かにするボランティアや地域活動があります。

この分科会では、ひとりひとりの暮らしぶりからつなげる・つながる「まちづくり」をみんなで考えます。

ゲストスピーカー 根本 房枝 氏

長野市にお住まいの視覚障がいがある方。地域で自分たちも一人の住民としてそこで暮らす地域の人たちと生活したい！と熱い想いを持って活動中。サロンを立ち上げたり、婦人部の部長をされたりしています。

県下初の視覚障がい者の電話交換手だったそう。



ゲストスピーカー 山口 和子 氏

長野市の視覚障害者への朗読ボランティアグループ「やまびこの会」会長。目の不自由な方たちに耳からの情報を送ることで、少しでも社会参加のお手伝いができたと活動している。



問い合わせ
長野県社協 まちづくりボランティアセンター
電話：026-226-1882
メール：vcenter@nsyakvo.or.jp
申し込みはQRコードか下記URLから
<https://forms.gle/VfgDHwJN7NCW2gRYA>

第1分科会 当日のプログラム

12月4日(日) 9:30～11:30

時間	プログラム
9:30	はじめに
9:35	○ 導入「最近どう?つながってる?」 まちづくりって? 地域ささえあいて? ボランティアって?
10:10	○ くらしぶりから考えるまちづくり 視覚障がいのある方、その方を応援するボランティア団体の方から、暮らしぶりや、地域住民の一員としての生活、こうなっていったらいいなあということなど、お話しいただきます。 ・根本 房枝 さん ・山口 和子 さん
10:40	○ ワイガヤ座談会 全盲だからと回覧板を回さないことを「配慮」としている自治会。しかし、本人からしたら、それは「排除」に感じる。そんなような話を聞いたことはありませんか? 本質的なまちづくりとは何か、皆さんのエピソードや気持ちを聞かせてください。 ※ ワイワイガヤガヤです! ミュートを外して、ぜひお声を聞かせてください!
11:10	○ まとめ その人の暮らしぶりからつなげる、つながる、まちづくり。
11:30	おわりに

UDトークを活用して、当日は字幕の画面も配信します。



- 申し込みはQRコードか下記URLから
<https://forms.gle/VfgDHwJN7NCW2gRYA>

第①分科会のみ参加も大歓迎です。
こちらに入力いただいたアドレスへ、当日のオンラインのURLをお送りいたします。

- 問い合わせ

長野県社会福祉協議会
まちづくりボランティアセンター 高橋
電話：026-226-1882
メール：vcen@nsyakyo.or.jp

12/4 (日)

9:30~

【分科会2】 地域における学びあいを 地域でつなごう

社会教育と福祉教育との協働により、人間力を育む取り組みを多世代へ広げていくことへの期待や暮らしへの影響などを事例を通じ紐解いていきます。

これからのまちづくりへの学びとは何かを発信します。

○コーディネーター
向井健 (松本大学)

○スピーカー
小池玲子 (社会教育委員)
降旗都子 (住民自治協議会)
なおやマン (佐久市子ども未来館館長)
橋本昭弘 (佐久市縁側プロジェクト)



参加申込は



佐久・松本地域における取組の紹介より

- ♡ 地域で「学ぶ」・地域で「育む」ことの意味合いとは？
- ♡ 地域のくらしを未来に残すためには、どのようなことが大切？
- ♡ 一人ひとりの力を引き出し、
活躍できる社会、ごちゃまぜの力とは？

分科会③ & 佐久大学の縁側コーナーは、
資料における活動紹介といたします。
コロナ感染症対応のため情報提供並びに交流の形態を変更いたしました。

県社協のHPへ情
報提供します

縁側のまちの 佐久大学の

県内のボランティア
活動団体情報と活動
への思いを集めます

まちの縁側育みプロジェクトながの メンバー紹介

まちの縁側ひろめ隊*つたえ隊*演じ隊として
まちの縁側推進に日々活動中。
まちの縁側が大好きなメンバーが
楽しんで活動しています。



お手製のパネルシアターでまちの縁側の心を伝える



まちの縁側を学び合う
縁側茶会



TC

縁が軸・環・結・回・和・音・笑



AA



あい

あふれる豊かな暮らしを発信しよう！

長野県まちづくり・ボランティアフォーラム2022

「企業と地域が連携したSDGs の取組みを進めよう！」

分科会
④

日時

12月4日（日）

9:30～11:30
オンライン配信

防災、環境、子ども若者支援など、広域で活動する企業のSDGs活動と地域のボランティア、NPO、社協等が協働して支えあいの地域を創りたい思いを持寄り、企業と地域連繋を進めていきます。

森谷雄一郎さん
損保ジャパン(株)長野支店
長野法人支社特命課長

災害ボランティアセンター
応援企業パートナーズ
SAS@Nagano
サスながの
SOCIAL ALL-for-one SUPPORT

「企業」と「社協」がパートナーシップを組み、
災害に強い地域づくりに取組みます。

台風第19号災害をふまえ、災害ボランティアセンターと地元企業のパートナーシップづくりを支援するため、長野県社協と「災害ボランティアセンター応援企業パートナーズ サスながの」の設立を目指す。



小松 寛之さん
ダイドードリンコ(株)長野オフィス
営業開発アシスタントマネージャー

長野県内で寄付の「子ども食堂自動販売」展開。現在、志を共にする企業とパートナーシップを広げ、販売機は県内約80ヶ所に広がっている。



地元に戻り企業人から園芸福祉を中心としたボランティア活動（学校、施設、地域等）を進める。軽井沢町ボランティア活動の推進に向けた活動つながりの中でできた新たな取り組み（SDGs）

岩田卓士さん
長野トヨタ自動車(株)
法人営業部地域連携課長



災害時にEVやPHV等の電源車を、支援に活用することを進めています。現在、医療機器を使用している医療的ケア児・者の停電対策として、社協とのモデル事業に取り組んでいる。

山岸 征男さん
前軽井沢町ボランティアセンター運営委員長
軽井沢・花とみどりの仲間たち 代表



コメンテーター
丸山 亜季さん
SDGSカードゲーム公認ファシリテーター

コーディネーター
中谷 隆秀さん 長野県生活協同組合連合会事務局長

主催 フォーラム実行委員会
長野県社会福祉協議会
共催 佐久大学

オンライン配信
参加無料



事務局：長野県社協まちづくりボランティアセンター
TEL 026-226-1882 E-mail: vcenter@nsyakyu.or.jp

◆申込み方法
参加をご希望の方は、上のQRコードより、分科会④をチェックしてお申込みください。

あい

あふれる豊かな暮らしを発信しよう！



長野県まちづくり・ボランティアフォーラム2022

<ワード>

不登校・ボランティア
こども居場所
こども食堂・カフェ
こども若者の可能性

「人との出逢いで人生変わる」

分科会⑤

日時

12月4日（日） 9:30～11:30
オンライン配信

「未来への期待を描く・こども若もの応援プロジェクト」

社会的養護出身の若者たちは、社会に出てお金・住まい・仕事・孤立など様々な問題を抱えています。また全国で不登校児童が25万人と過去最多となっているのが現状です。日本の未来ある子ども若者が「自由な翼」を持ち、羽ばたくために我々は、何が出来るのだろうか？ 共に考えていきましょう！

9:30～10:35(講演) 休憩10分 10:45～11:30 (ディスカッション)



成澤 乃彩さん 信州大学
教育学部現代教育コース3年

中学時代に起立性調節障害を患い、不登校を経験。この時に会った恩師の影響から教員を目指す。2019年5月から丸子福祉会こどもレストランきらっとにボランティアとして参加。このことがきっかけで、「子どもの居場所づくり」に関心を持つ。現在は、長野市で子どもの居場所づくりを行う団体に参加。



堀越 翔さん
自立支援専門員

同じ志を持つ、地元企業20社以上と連携して児童養護施設を卒園した若者のサポートを行なっている。また施設で野球チームを作り、人と人の「つながり」を持てる居場所を生み出している。好きな言葉は、「笑う門には福来る」笑顔を大切に日々、子ども達と共に歩んでいる。

児童養護施設 軽井沢学園



渋川 温美さん 中野市社会福祉協議会
ボランティアコーディネーター

中野市を子育てしやすい街を目指して地域ボランティア団体と一丸となり、「こども元気プロジェクト」を展開。また社協が積極的に子ども食堂団体の設立相談・運営サポートを行なっている。二児の母としても笑顔・感謝を大切に誰もが気軽に「挨拶」ができる、寄り添う事が出来る地域を望み、目指している。



傳田 清さん NPOホットライン信州 事務局長
長野県社協 相談員

2018年だがしやGをオープン。こども・若もの応援プロジェクトを発信。こども食堂など県内150カ所のサポートを行い、また地域で子ども祭を企画し、多くの笑顔を生み出している。「地域には、力がある」と信じて子ども達の未来のために地域を暖める活動を展開している。

会場

佐久大学キャンパス (長野県佐久市岩村田2384)
■オンライン会場

主催 (社福) 長野県社会福祉協議会
共催 学校法人佐久学園 佐久大学
～社会的養護出身の～
若者サポートプロジェクト

参加費
無料



事務局：長野県社協まちづくりボランティアセンター
TEL 026-226-1882 E-mail: vcenter@nsyakyu.or.jp

◆申込み方法
参加をご希望の方は、上のQRコードより、分科会⑤をチェックしてお申込みください。

「私（アイ）らしいエンディングを迎えるために」
～最期まで「自分らしく」あるために、備えたいこと～

12月4日（日）9時30分～11時30分 配信会場：佐久大学

誰もがいつか迎えるエンディング…。私らしいエンディングを準備して、今を生き生きと生きていくには…、地域において専門職と市民と一緒に考える。

【出演者】

- ・ は一べすとの会 村山 修 さん
は一べすとの会…身寄りのない人や単身者の会
ひまわりの会…村山さんのエンディングを考える会
- ・ 市民後見人 川手 俊美 さん
- ・ 長野市社会福祉協議会 「おひとりさま」あんしんサポート相談室 森田 靖子 さん
- ・ 元長野県社会福祉協議会事務局長 小池 正志 さん

【コメンテーター】

- ・ 佐久大学 人間福祉学部人間福祉学科 教授 島田 千穂 さん

【コーディネーター】

- ・ 長野県社会福祉士会身寄り問題プロジェクト 佐藤 もも子 さん

分科会 7

“地域とともに”

災害コミュニティソーシャルワークの展開を

長野県
まちづくり・ボランティア
フォーラム2022

近年、豪雨土砂災害が頻発する中、災害ボランティアセンターの役割がますます高まっています。そして、その運営手法において、発災直後から地域力・住民力を活かした「コミュニティマッチング」と「アウトリーチによる被災者相談支援の展開」が、復興期やその後の相談支援・参加支援・地域づくり支援の一体的な取組へとつながる大きな可能性を示してきています。

この分科会では、災害ボランティアセンターの運営を通して被災者宅を訪問し続け、被災者が抱えるニーズを多様な機関へつなぎながら継続的に支援を展開する「災害ケースマネジメント」の視点に加えて、その実践を、住民をはじめとする地域資源とともに取り組む「災害コミュニティソーシャルワーク」の展開について学びます。そして、災害コミュニティソーシャルワークの展開が災害時に特化した取組にとどまらず、「地域共生社会」につなげる日常的な取組の展開につなげていくことを目指します。

12月4日(日) 9:30~11:30

プログラム

- 9:30 開会・趣旨説明
- 9:40 【第1部】実践報告
「今年度の災害支援の現場から」
〈報告者〉
永井 紀子さん 忠 稔さん
〈静岡県〉 〈新潟県〉
浜松市社会福祉協議会 天竜地区センター 副センター長
村上市社会福祉協議会 地域福祉課 係長
- 10:30 【第2部】ディスカッション
「“地域とともに”
災害コミュニティソーシャルワークの展開」
〈話題提供〉
小野 貴規さん
〈長野県〉
長野市社会福祉協議会 地域福祉課 係長
- 11:30 閉会
〈コーディネーター〉
石井 布紀子さん
NPO法人さくらネット 代表理事
長野県社会福祉協議会 防災福祉アドバイザー



申込方法

<https://forms.gle/VfgDHwJN7NCW2gRYA>

申込フォーム(URL・QRコード)からお申込ください



フォーラム全体

全プログラム、オンライン開催に変更!!

12月3日(土)

13:30~19:00

第1部 地域力の源を知ろう!
第2部 佐久大学からこんにちは
—地域と紡ぐヒューマンケア—
ナイトセッション

信州の地域福祉のあゆみと、
未来へ向けたエール

4日(日)

9:30~13:00

7つの分科会/まとめセッション

フォーラム全体の詳細はこちら
<http://www.nsyakyo.or.jp/machi-vola-2022.php>